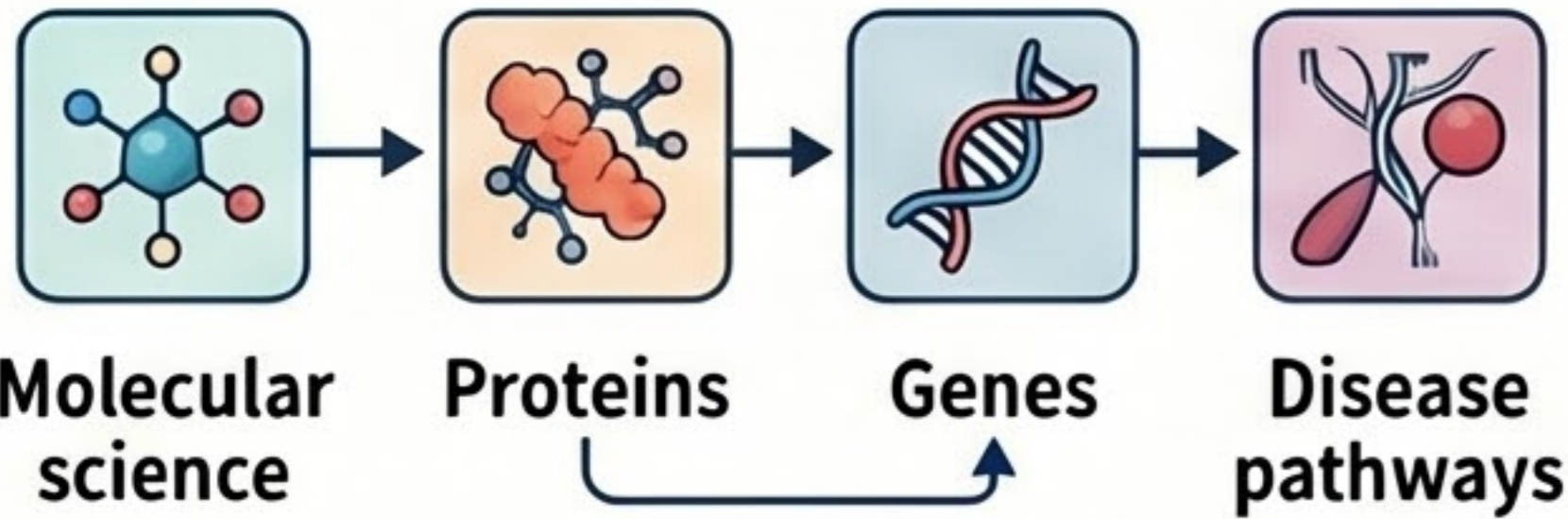


# OpenAIのライフサイエンス特化型AI「GPT-Rosalind」の実像:研究を加速させる「オーケストレーター」の正体

EXAMPLE: 強力なパートナー・エコシステム

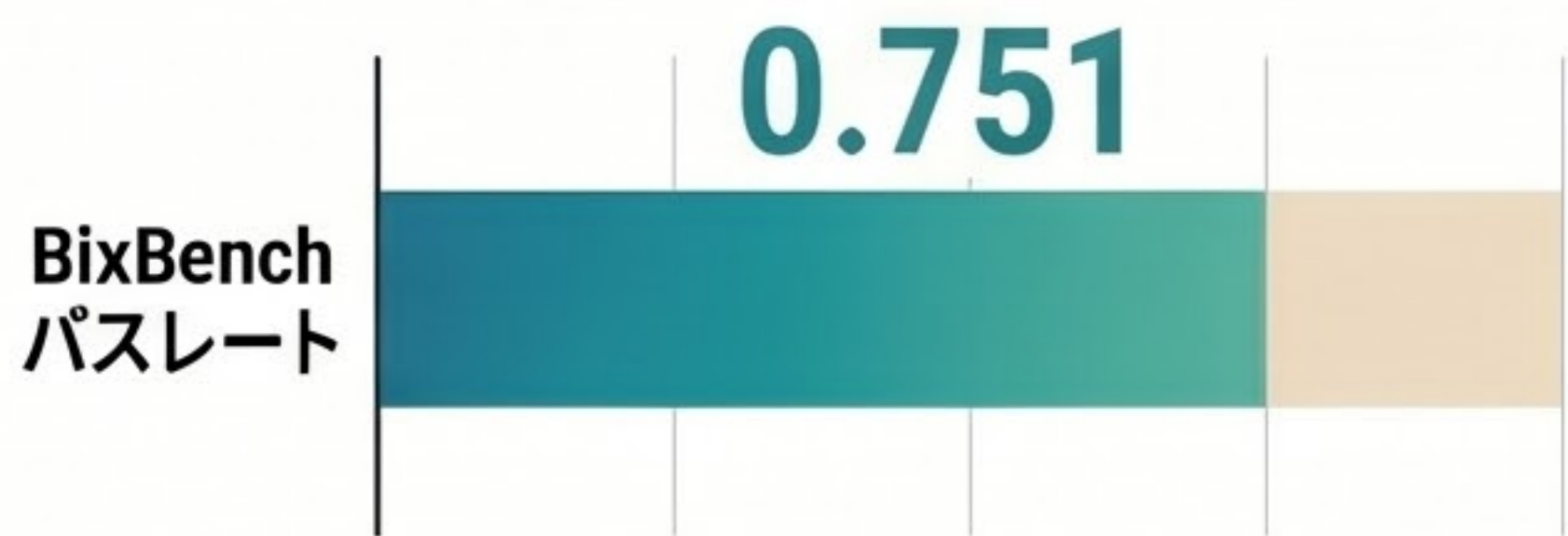


## 技術的特徴と能力の検証



マルチステップの科学的ワークフローに特化  
分子・タンパク質・遺伝子・疾患経路にまたがる  
推論と、実験計画やデータ解析に強み

BixBenchで0.751のパスレートを記録



現実的なバイオインフォマティクス分析能力を測るベンチマークにおいて、公開モデルの中で首位水準の性能

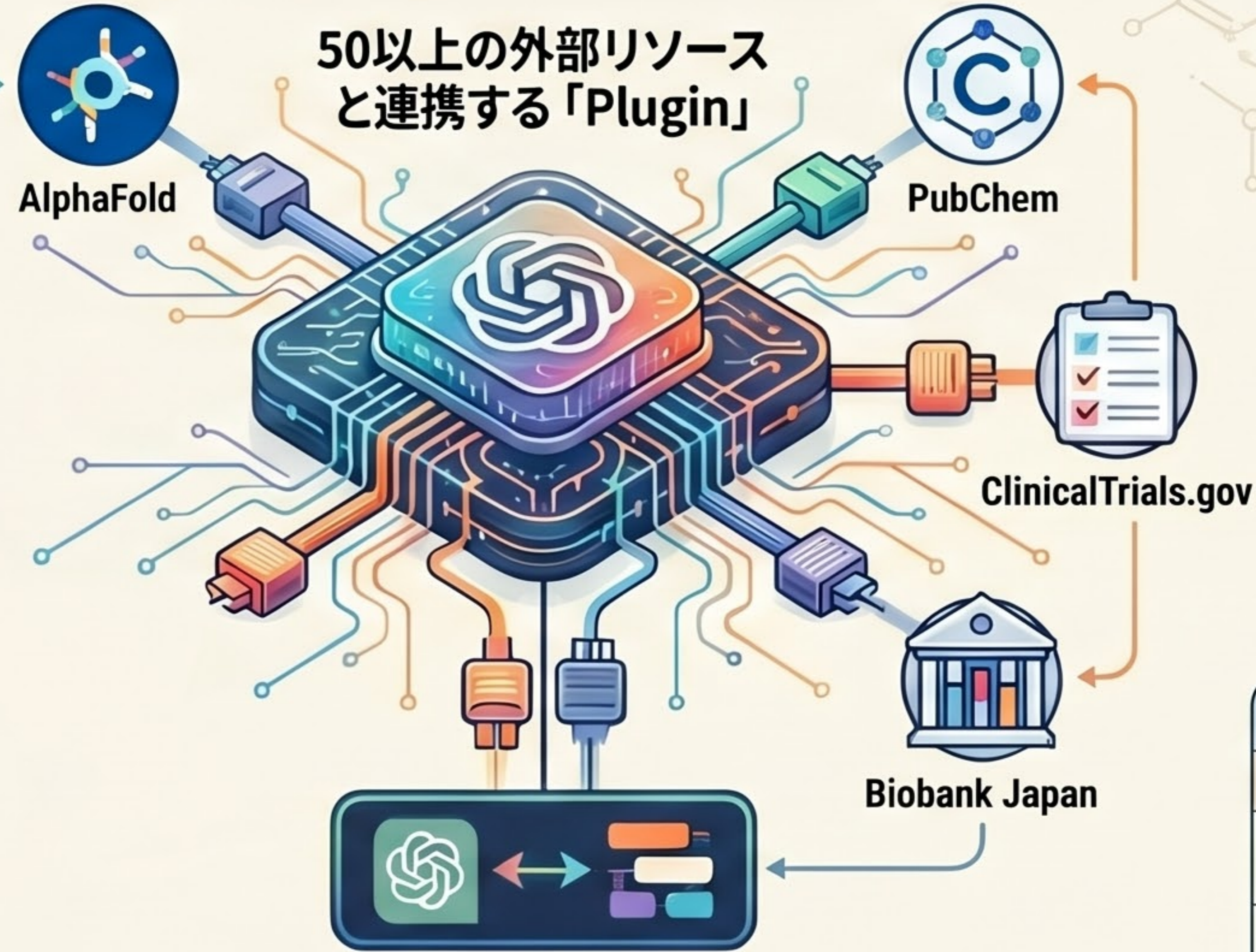
※ 技術仕様の多くは「非公開」:アーキテクチャ、パラメータ数、学習データの内訳などは公表されておらず、性能はOpenAIの自己申告に基づく

2026年4月16日 発表:研究者の隣に置く共同作業者



米国限定で限定公開 (Enterprise向けresearch preview)  
目標は「自動発明」ではなく、早期探索 (early discovery) における情報圧縮や仮説生成の支援

## 研究オーケストレーションの仕組み



## 科学ツール操作の代行

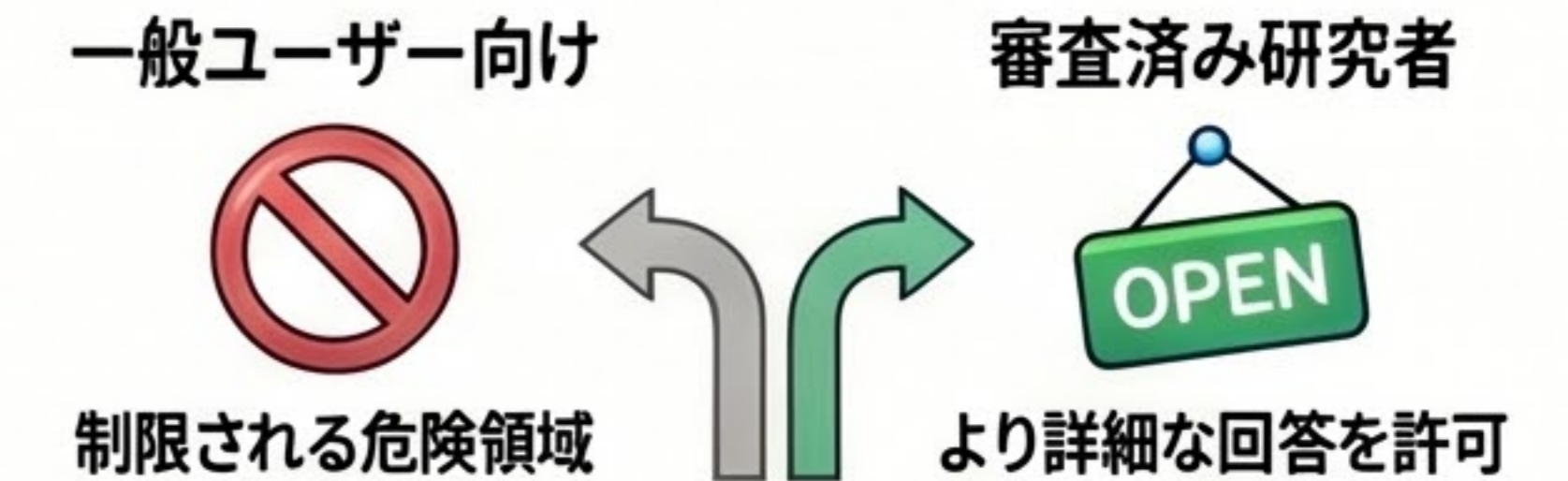
自身が構造予測機になるのではなく、外部のAlphaFold等を呼び出して情報を統合・解釈する「上位レイヤー」として機能

## 安全性と「Trusted Access」モデル



厳格な「信頼されたアクセス」制度  
安全責任者の指名やアカウント管理体制の審査など、組織統制そのものをアクセス条件に

## 「ガードレール」と「詳細な回答」の両立



徹底したデータ保護:顧客データはモデルの学習に使用されず、Enterpriseレベルのセキュリティ (HIPAA準拠など) が担保

## 既存ツールとのポジショニング比較

ツール	主な役割	GPT-Rosalindとの関係
GPT-Rosalind	研究構造的な推論・仮説生成	全体を統合するオーケストレーション層
AlphaFold	タンパク質立体構造の予測	構造予測の専用機 (Rosalindから呼び出される)
ESM3	タンパク質配列・構造の生成	生成に特化した科学モデル
Benchling AI	R&Dワークフロー基盤	Rosalindを推奨する「研究用OS」